

特集 地域で母になる



▲ペインターの中村さん。約1時間で描き上げる



▲撮影後は布を使った“人拓（じんたく）”で残すことができる



▲撮影中の岡田さん。マスク越しでも一瞬を逃さない

Information

撮影場所／おかだ写真館（横河原）

（@okadaphotostudio）

ペイント／Belly Paint Hitomi

（@bellypaint_hitomi）

出産は、家族の一大イベント。今月の広報は今しかない瞬間を残しに、写真館を訪れた谷さんご家族の声をお届けし、新しい子育て支援サービスをご紹介します。

妊婦さんのお腹に絵を描くベリーペイント。ボディペイントの一つで、安産祈願と赤ちゃんの健やかな成長を願う。

280日の物語。
約40週間、お母さんは赤ちゃんをお腹の中で育てます。妊娠・出産は言うまでもなく素晴らしいこと。家族にとってはワクワク、ドキドキ、そして不安もたくさんあります。

日を迎える加衣さんは、夫の怜亮さんと長男の葉太くんの3人暮らし。「女の子がいいな。男の子は僕がいるからね」と葉太くんは笑います。二人目を考えるようになったのは葉太くんの「兄弟がほしい」という一言も大きかったそうです。

誰かが大変な子育てだから、誰か一人が抱えこむものではないですね。ママに任せきりになったり、パパが力んで追い込まれるのも、家族にとって良くありません。これからの時代、チームで子育てに向き合うことが大切です。

「結婚式ぶりにドレス姿を見ました。二人目が生まれるんだなと実感が湧いてきます」と手を添える怜亮さん。加衣さんは「ベリーペイントは初めての体験。自分だけをこんなに撮影してくれるのは恥ずかしくもあり、嬉しくもあります。素敵だなと思ったのは、31週目のお腹の大きさを思い出に残せたこと」と笑みをこぼします。

将来、今日の写真を振り返って家族で笑いあう姿が目に見えます。

家族の「記憶」を「記録」に

結婚式ぶりに見たドレス姿



特集 地域で母になる

産後ケア事業



産後のお母さんの心身サポートや育児サポートを行う医療機関での宿泊型や日帰り型サービスです。健康相談や授乳指導、発育チェックや沐浴指導などが受けられます。まずはお気軽に保健師までご相談ください。※利用には事前申込みが必要です。

◇対象者…産後4カ月未満の母親と乳児◇実施機関…ハートレディースクリニック（東温市野田）◇注意事項…医療機関はお産が優先です。日程の再調整が発生する場合がありますので予めご了承ください。

◇申込…健康推進課母子保健係 ☎ 089-964-4407

区分		利用者負担額		利用期間
		基本額(日額)	多胎児加算	
宿泊型	市民税課税世帯	3,000 円	500 円	最大7日間／1泊3食／利用開始時刻から24時間以内の利用を1日とする
	市民税非課税世帯	1,500 円	250 円	
	生活保護世帯	0 円	0 円	
日帰り型	市民税課税世帯	1,250 円	200 円	最大7日間／1日2食／午前10時から午後8時までの10時間以内の利用を1日とする
	市民税非課税世帯	625 円	100 円	
	生活保護世帯	0 円	0 円	



新しい安産のおまじない

家族で残したい



特集 地域で母になる

オンラインで子育て相談

コロナで外出を控えている、子どもが小さくて長い間のお出かけが難しい、兄弟を連れて出かけるのが大変…。そんな皆さん。オンラインで子育て相談できる窓口が始まりました。

＜オンライン子育て相談＞

◇相談日…毎週第2・4㊤◇時間…13時30分～16時（予約制・相談

時間30分程度・上記時間以外での相談は要連絡）◇予約方法…地域子育て支援センターにメール又は電話（aozora@city.toon.ehime.jp ／ ☎ 089-990-1227）◇必要なもの…スマートフォン、タブレット又はマイク・カメラ付きパソコン、インターネット環境、メールアドレス ※通信料は相談者負担

◇相談までの流れ…①メール又は電話で予約してください。②地域子育て支援センターから「ミーティング招待状」のメールが届きます。③メール本文中の URL から専用アプリをダウンロードしてください。④予約相談時間になったらアプリからミーティングに参加してください。



▶スタジオには撮影した写真が並ぶ

県内初の日本ベリレーベイント協会認定ペインター、中村仁美さん（お店は松前町）は「ペイントに来るまでもいろいろな思いを持つて来られる方が多い。そのタイミングでベイントさせていただけることがこちらも幸せです。お腹の中に赤ちゃんがいることがとても神秘的です」と安産の願いを込めます。

中村さんが提携するフォトスタジオは県内で2カ所だけ。その1つが横河原駅前にお店を構えるおかだ写真館です。3代目の岡田真之介さん（37）は「ご家族にとって、この瞬間、この空間も含



▲ボディペイント用の水性絵の具

めて心に残る体験にしたいと思っています。ご家族が願う新しい安産のおまじないとして、大切な想いが込められた瞬間を残すお手伝いができれば、これほど嬉しいことはありません」とシャッターを切ります。

出産という大変なお仕事を控えるママ。主人公のバトンが赤ちゃんに渡るそのときまで、この物語の主人公は、もちろんママです。

そして赤ちゃんの思い出を一つひとつ紡いでいくことが、男性の育児参加のきっかけになるかもしれません。